

74年のレビュー



昭和49年の競馬は、四歳クラシック戦線はキタノカチドキ旋風が吹きまくり、古馬はハイセイコ

1、タケホープのいわゆるHT対決で始まり、暮の有馬記念ではタニノチカラが圧勝して締めくくりをつけた。

ました。恒例により1974年のフリーハンデを作って行きたいのでよろしく願います。

四歳馬

〈キタノカチドキ史上初の64キロに〉

まず、四歳馬から入りたいと思います。トップは皐月賞、菊花賞二冠のキタノカチドキで文句のつけよう

もないですが、どの程度に評価しますか。

菊花賞の二つのクラシックタイトルを取っているし、史上初のシード馬にもなった。ダービーではコーネル

ランサー、インターグッドに負けて3着ではあったが、73年のタケホープ63キとの比較からすれば、悪くても同じ、それ以上の評価を与えてもいいように思いますね。

過去をさかのぼってトップハンデ馬を見ると、72年イシノヒカル63、71年ヒカルイマイ63、70年タニノムーティエ63、69年アカネテンリュウ61、68年アサカオー61となっ

西田秀夫	(栗東)
田中邦夫	(栗東)
各務富也	(栗東)
柴田裕	(栗東)
堀尾充	(東京)
藤田明德	(中山)
高宮勝房	(中山)
近藤俊輔	(本部)
寛邦男	(本部)

司会／編集部

ています。

藤田 ここ数年、トップが63というのは、64年の三冠馬シンザンの評価が63*ということがあるので、シンザン以上ということはあるまいという比較論の上でのものでした。

——シンザンは古馬になった65年には67のハンデを付けられたが、三冠を勝った四歳の時は63でした。

西田 それがあつたので今まで四歳馬で63以上に行った馬は一頭もいなかった。何しろ三冠馬なんですから……。ところがここ数年のフリーハンデの傾向を見ると、上に上に付けてきている。シンザンとのからみがあつて簡単に結論は出せないが、73年のタケホープとの比較なら、1*

上でも少しもおかしうはない。
寛 勝ったレースが二冠を含めて、きさらぎ賞、スプリングS、神戸新聞杯、京都新聞杯と4つの重賞で、唯一の敗戦がダービー3着だけ。

高宮 総合的に見てもタケホープより上であることは確かでしょう。
各務 トライアル的なレースは文句なく全部勝っている。64でいいんじゃないですか。

算 このフリーハンデも始まってもう10年以上も経っているから、これから基準を変えてもいような気がしますね。

柴田 皇月賞終了時から後のことを考えて例年の馬と比較するなら、春のダービーの1、2着馬が秋の戦力ではなくなり、秋のトライアル、神戸新聞杯、京都新聞杯でキタノカ

チドキの2着したニホンピロセダンなど、キタノカチドキの好敵手がまったく出なかった菊花賞だったということも、考える必要はありませんか。

堀尾 確かにそれは考えなければいけないだろうが、そういうことがあつても、またシンザン63というところがあつても、私は73年のタケホープより1*上の64でいいと思う。

近藤 とにかく負けたのがダービーだけだから、相対的に強い馬であることは事実なんだ。かなり重くてもいい。

寛 三歳時が4戦4勝で通算成績が11戦10勝、それに三歳から通つて来た路線も文句の付けようがない。

高宮 今後、キタノカチドキのような馬が再び出るかどうか、ちょっと分かりませんし。

近藤 64にすると三冠馬シンザンより上になってしまうが……。

西田 あまりそれにこだわることもない気はしますが。

田中 最近のフリーハンデは全般的に重くなつてくることは確かです。それからするとあまりこだわらなくてもいいんじゃないの。

算 このフリーハンデも今回で十三回目です。長い歴史を持つということは、その間に知らず知らず変化もあるということだと思ふ。その意味では、このフリーハンデの評価の仕方多少ずつ変化して来たわけです。これが近年、四歳馬を比較的重く付けてる理由でしょう。キタノカ

チドキに64を与えることは、シンザンよりも1*上になつてしまふが、戦績等を考えれば64で私は差しつかえないと思ふ。

近藤 とにかくシード馬でもあるし……。

藤田 皇月賞、ダービー、菊花賞と3回シードされた。これは大変なことです。

田中 シードされるということは関係者は精神的にもとても苦しいだろう。だが、3回シードされたが、その重圧をはねのけて2勝した。これは偉いことですよ。

——それではキタノカチドキ64*。これに続くのがダービー馬コネルランサーですか。

堀尾 当然キタノカチドキに続くのはコネルランサーだが、何*差を付けるのか、2*か3*か。

近藤 2*差でいいんじゃないかな。

西田 ダービー馬だから3*差とはいかないでしょう。

柴田 皇月賞も2着に来ていることですから。

藤田 ただ、秋に出なかったのもう一つ何か物足りないということとがあるけれど。

各務 勝鞍も4戦1勝で、勝ったのがダービーだけなんだが。

西田 73年のハイセイコーが62だから、キタノカチドキから2*差でハイセイコーと同じならいいんじゃないのかな。

近藤 それにダービーはやはり最

高のものというところがあるしね。

——ではコネルランサーが二番手で62*。

近藤 ここまではいいんだが、この後がいなくなっちゃうね。

藤田 以上の2頭からは相当の差を見なくちゃいけないでしょうね。

堀尾 どの程度の差を付けるかが大きな問題になるけど、その前に候補を上げれば、スルガスンプジョウ、カーネルシンボリ、インターゲットの3頭かね。

算 今の3頭の中ではカーネルシンボリが3*差の59で続くと見ます。

近藤 私は力をつけているスルガスンプジョウを一番手と考えた。

藤田 スルガスンプジョウは力はあるでしょうけど、クラシックに出たのはダービーだけで6着だった。こうクラシックの成績がないだけにどうもという気がするんですがね。

堀尾 やっぱりカーネルシンボリが次にくると思う。春の始めの重賞東京四歳Sと弥生賞を連覇したのだから。

算 コネルランサーからは最低2*は見なければいけないでしょう。

高宮 すると60*になる。

各務 60となるとキタノカチドキから比較した場合付け過ぎじゃないでしょうか。

田中 私はカーネルシンボリよりもスルガスンプジョウを上にした。カーネルシンボリの活躍は春だ

けですから。

藤田 年間通しての活躍度から言え、スルガスンプジョウが上になる。

高宮 スルガスンプジョウは日本短波賞、セントライト記念、クモハタ記念の3重賞を勝った。

寛 クモハタ記念では古馬と競馬して破っている。

—— するとコーネルランサーに続くのはスルガスンプジョウということになりますが、関西でこれに並ぶ馬はいませんか。

西田 関西ではスルガスンプジョウに匹敵する馬はいません。その下に続くのがスリーヨークあたりです。

高宮 ニホンピロセダンあたりは入りませんか。

柴田 ニホンピロセダンは秋一連のトライアルでキタノカチドキの2着になってはいるが、秋シーズンに勝鞍がないんです。

各務 それから言う朝日チャレンジCを勝っているスリーヨークよりは下に見ざるをえないでしょう。

—— コーネルランサーに続くのはスルガスンプジョウだけになりませんか。

西田 ダービー2着のインターグッドのランクはどうだろうか。

寛 ダービーを頂点と考えたと、コーネルランサーとハナの接戦を演じたインターグッドをどこにランクしたらいいかですね。

堀尾 ダービー2着の成績はある

が、あとがどうももう一つパツとしない。

近藤 ダービーはやっぱり最高のものだがハナでも負けは負けだ。コーネルランサーからは相当の開きがあってもいいんじゃないだろうか。

—— ではコーネルランサーに続くのはスルガスンプジョウ一頭だけですが何*でしょうか。先ほど、60はキタノカチドキから比較すると重過ぎるというご意見がありました。

田中 上位2頭から見たら2*差で60ということはないでしょう。

近藤 取ったレースの格から言えば3*はあると思う。

藤田 コーネルランサーは皐月賞2着の成績もあることですし。

—— ではスルガスンプジョウは59。次は58でインターグッド、カーネルシンボリ、スリーヨーク、バンブトンオール4頭が入りますか。

古馬

—— 次は古馬の部ですが、春の天皇賞はタケホープ、秋はカミノテシオ、そして74年の総決算有馬記念はタニノチカラが横綱相接を見せてくれました。トップは当然タニノチカラでしょうが、タケホープとの差は果たしてあるのかないかが問題です。年度代表馬の最優秀古馬(牡)の部の投票では、タニノチカラとタケホープの点数の開きはかな

田中 今の4頭の中ではバンブトンオールはそんなに評価できないでしょう。菊花賞、弥生賞各2着と一連の好成績はあるけど。

柴田 バンブトンオールは1*下の57でいいと思う。

各務 今の中にダービー2着が目立つ成績しかないインターグッドも一つ下のようだが、ダービーでは事実キタノカチドキに先着していますから。

—— 58は今の4頭で57に、他で入る馬は。

田中 ニホンピロセダンと、金鯱賞、小倉記念勝ちのハウシユウミサイルの2頭。

堀尾 ここに皐月賞4着、菊花賞3着のフェアリーユウを入れますよ。

寛 牝馬のトウコウエルザは入らないかな。

西田 73年はニットウチドリが58

だった。

寛 ニットウチドリの58というのは、桜花賞、ビクトリアC優勝とオークス2着、さらに有馬記念2着が高く評価されたものだったんです。

高宮 トウコウエルザはオークス、クイーンS、ビクトリアCと勝っている。

柴田 牝馬であれだけの脚を使える馬はめったにいません。

田中 相当に高く評価してもいいんじゃないですか。

藤田 確かに高く評価はしなくちゃいけないでしょうが、ニットウチドリは有馬記念に出て2着したから58が与えられた。それから見て有馬記念に出なかったトウコウエルザは1*下げてもいいんじゃないですか。

高宮 勝った大きなレースは全部牝馬だけのレースだしトウコウエルザは57でいいですね。(以下略)

〈タニノチカラは前年より2*増の64〉

りありました。これは有馬記念の圧勝ぶりがありにも印象が強かったからなんでしょうけど。

西田 この2頭に差を付けていいものか悪いのか、かなり難しい問題ですね。

田中 74年後半のタニノチカラは、73年秋の天皇賞優勝当時と比べたら格段に強くなっていますよ。

柴田 73年秋の天皇賞は相手も揃

ってなかった。有力馬が休んだりハクホオショウが故障してしまったりで。各務 74年のタニノチカラは強くなったと言ってもこれは秋のこと、確かに秋の後半は京都大賞典、オーブン、有馬記念と三連勝したが春の成績がもう一つという感じはあります。

西田 春は4戦して最初のオーブ

ンに1勝しただけで、続くオープン
はマチカネハチロー、京都記念はス
カイリーダ、サンケイ大阪杯はキヨ
ノサカエのそれぞれ2着だった。

柴田 サンケイ大阪杯は5頭立て
で楽な競馬だったが、泥んこの馬場
でちょっと不得手という感じがした
けど、京都大賞典と有馬記念を見た
らケタ違いの強さです。

西田 京都大賞典ではハイセイコ
ーと斤量は62と57で5*差があつた
が、あのレースも強かったものね。

田中 スクラッチでもタニノチカ
ラが勝ったかもしれない、と思わせ
るくらい強かった。

西田 有馬記念の一回だが勝負が
ついているので、タケホープよりも
上にしましょう。

田中 むしろ歴年の馬との比較が
難しい。

—— 73年はタイテムとタニノ
チカラが共に62、72年はヤマニンウ
エーブ62、ベルワイド61、71年トウ
メイ64、70年スピードシンボリ65、
69年タケシバオー66です。

柴田 73年にタニノチカラを62*
としたなら、今年は2、3*は上に
付けないといけないですね。

西田 タケホープは天皇賞とアメ
リカJCCに勝ってますね。

近藤 73年のタイテムがマイラ
ーズCと天皇賞で62です。

各務 タケホープの戦績から見
ても同馬の62は妥当な線でしょう。

高宮 タニノチカラはそれから2
*上の64でどうですか。

西田 ストロングエイトが有馬記
念を勝って60でしたね。

近藤 トウメイも71年には64を付
けられているから。

堀尾 それより下ということはない。
タイトル数は2つしかないけ
ど。

田中 印象も強烈でしたよ。

藤田 過去に天皇賞をすでに取
り、さらに有馬記念に勝ったのだから
64はびつたりです。

高宮 ハイセイコーはタケホープ
より1*下げますか。

各務 私はハイセイコーとタケホ
ープは並べてもいいと思う。

藤田 ハイセイコーは天皇賞のタ
イトルがないだけに、1*下に来る
と思います。

田中 有馬記念ではタケホープに
先着していますね。

寛 中山記念、宝塚記念、高松宮
杯と勝つてから並べてもいいんじ
やないでしょうか。

近藤 やっぱりこの2頭は並べる
訳にはいかないだろうね。天皇賞の
重味は違いますよ。

堀尾 春の天皇賞では5着にもこ
れなかったのだからタケホープより
1*は下に見えないといけない。

西田 重賞3勝と勝数はあるけ
ど、天皇賞という大レースでタケホ
ープに完敗しているのだから、61*
が適当なところでしょう。

寛 このフリーハンデは距離の定
まったものじゃない。二千ギンまでな
らハイセイコーに分があるし、二千

四百以上じゃタケホープに分があ
る。それでなおかつ二千五百の有馬
記念では2着と先着している。

近藤 2着先着とは言え、タニノ
チカラに5馬身と大きく離されてい
るしね。さらに宝塚記念や高松宮杯
では相手の問題もある。

—— ハイセイコー61で次はカミ
ノテシオはどこに置きますか。

高宮 カミノテシオは6戦1勝で
その唯一の勝鞍が天皇賞だった。

各務 その意味じゃ73年のストロ
ングエイトの有馬記念優勝と同じだ
から、同斤の60でどうでしょう。

寛 73年のタニノチカラの天皇賞
よりも、昨秋の天皇賞の方がメンバ
ーは揃っていたとは言えますね。

柴田 タニノチカラは夏からカム
バックして二百万円下の条件から上
がって行ったから、プラスアルファ
はあったと思うんです。

田中 ハイセイコーが61なら60が
妥当なところでしょう。

西田 過去に天皇賞馬で60とい
うのはいましたか。

—— ちょっと見当たりません。

西田 その点から考えると、タケ
ホープよりも1*下くらいには置いて
おきたい気がするんですが。

寛 戦績はあまり良いとはいえな
いが、天皇賞馬で60とか59とかいう
評価はないと思う。

近藤 ハイセイコーと並べるのに
抵抗はあるかな。

田中 抵抗というものはない。
堀尾 天皇賞の他に何でもい

ら一つでも勝ってくればスナ
リ決められるんだけど。

柴田 73年のストロングエイトの
有馬記念優勝との比較ですが、どっ
ちが重味がありますか。

寛 重味ならカミノテシオだろ
う。展開のアヤとかいうことはな
い。力で勝った。

各務 ハイセイコーと並べても
いでしょう。天皇賞優勝のタイトル
は大きいものですから。

—— ではハイセイコーとカミ
ノテシオが並んで61*。

藤田 次に入るのが関東ではイチ
フジイサミとタケクマヒカルの2頭
でしょう。

田中 勝鞍から行ったらタケクマ
ヒカルの方がイチフジイサミより一
つ上じゃないのかな。

高宮 タケクマヒカルは京王杯ス
プリングH、日本経済賞、毎日王冠
の三つの重賞に勝ってます。

堀尾 イチフジイサミはサンケイ
賞オールカマー勝ちと秋の天皇賞2
着だけだから、タケクマヒカルより
も1*下でいいんじゃないか。

—— 何*ですか。

寛 60はない、59でいい。

各務 関西ではクリオンワードと
ホウシュウエイトの2頭じゃないか
な、59に入ってもいいのは。

西田 クリオンワードは天皇賞3
着、宝塚記念2着、そして阪神大賞
典に勝ったからいいですね。
寛 クリオンワードを59に入れる
なら、ストロングエイトも並べても

いいですね。春の天皇賞2着と鳴尾記念に勝っているから。

堀尾 それを並べてもいいのなら、さっきのイチフジイサミも資格はある。重賞1勝と秋の天皇賞2着だから条件は揃ってるよ。

柴田 京都記念春秋連覇のスカイリーダはここには入りませんか。

各務 スカイリーダはもう一つ下の評価じゃないですか。

高宮 それなら、重賞は日本経済新春杯一鞍と秋の天皇賞5着のホウシュウエイトも一つ下の評価じゃないかな。

堀尾 ホウシュウエイトは58でいいところと思う。

西田 クリオンワードは59から1*上の60には行きませんか。

藤田 それは行かないですね。

寛 ストロングエイトとクリオンワードは同格と見ていいでしょう。

—— 59*はイチフジイサミ、クリオンワード、ストロングエイト、タケクマヒカルの4頭ですね。

西田 1*下の58には先ほどのスカイリーダとホウシュウエイトの2頭が入ります。

藤田 関東ではスガノホマレとノボルトウコウの2頭という感じではないですか。

高宮 スガノホマレが京王杯オータムHで樹立した千八百の時計1分46秒5のレコードタイムは光りますね。

堀尾 スガノホマレは納得したけど、ノボルトウコウはどうなんだろう。

う。小倉大賞典、関屋記念、福島記念とローカル競馬の重賞を総なめにした感があるけど。

柴田 実際に58・5*で勝っても

三 歳 馬

関西

〈トップは阪神3歳S勝ちのライジン〉

—— では最後に三歳馬ですが、

今年は73年のように、関西はキタノカチドキ、関東はカーネルシンボリ、ミホランザンと軸馬がいました

が、昨年は東西とも混戦模様です。まず関西からお願ひしましょう。トップは阪神三歳S優勝のライジンです。

柴田 関西のステークス馬は、函館三歳Sのホシバジ、デイリー杯三歳Sのニルキング、阪神三歳Sの

いるし、いいんじゃないですか。

各務 とにかく無事に走って重賞を3つ勝ったからここに入れときましょう。

—— 58*はクリオンワード、ホウシュウエイト、スガノホマレ、ノボルトウコウの4頭ですね。

(以下略)

ライジンと三頭いますが、総決算という意味じゃ阪神三歳Sのライジンがトップは文句のないところでしょ

う。

西田 73年はキタノカチドキが4戦4勝、デイリー杯と阪神の両三歳Sを勝って55*だから、4戦2勝のライジンは1*下の55でいい。

各務 これに次ぐのが中京のチャンピオンとなったロングフアストで54。

(以下略)

三 歳 馬

関東

〈上位は牝馬が独占〉

—— 関東はまったく牡馬は不作で、重賞に勝った3頭が全部牝馬です。北海道三歳Sのプロスパラス、京成杯三歳Sテスコガビー、朝日杯三歳Sマツフジエースといいますが、

トップはどれでしょうか。プロスパラスは北海道では走ったが、戻って

近藤 テスコガビーとマツフジエースはトップで並ぶんじゃないか。

—— 何*から始まりますか。牝馬がトップでは当然軽くなる。

藤田 とにかくトップが牝馬2頭

並ぶとは情ない話ですが、牝馬と言えども55から始めて関西と頭は並べてもいいんじゃないですか。

堀尾 牝馬だから関西より一つ下げて54からでいいでしょう。

寛 それに前年のカーネルシンボリ、ミホランザンが55でトップに並んだのから比較したら、1*下げて54が納得の行くところです。

高宮 次の53にはシンプライド、プロスパラス、イシノマサル、ゴールドボーイを入れときましよう。

堀尾 結局、関東の上位6頭のうち4頭までが牝馬になったわけだ。まったく寂しいね。

—— 牡馬の奮起を促したいですね。

近藤 次の52にはウエスタンパレード、カブラヤオー、シャートードンボリ、ジュウダベンハーの4頭入れますか。

藤田 そこらが妥当なところですね。

(以下略)

'74年のフリーハンデ

※牝馬 ④抽せん馬
②父内国産馬 ③外国産馬
⑤持込馬 ⑥公営出身馬

四 歳 馬		古 馬		三 歳 馬 (西)		三 歳 馬 (東)	
64	キ タ ノ カ チ ド キ	64	タ ニ ノ チ カ ラ	55	ラ イ ジ ン	54	※ テ ス コ ガ ビ ー
62	コ ー ネ ル ラ ン サ ー	62	タ ケ ホ ー プ	54	ニ ル キ ン グ	53	※ ④ マ ツ フ ジ エ ー ス
59	ス ル ガ ス ン プ ジ ョ ウ	61	カ ミ ノ テ シ オ		ロ ン グ フ ア ス ト		イ シ ノ マ サ ル
58	イ ン タ ー グ ョ ッ ド	59	④ ハ イ セ イ コ ー	53	※ ② ウ ラ カ ワ チ エ リ ー		ゴ ー ル ド ボ ー イ
	カ ー ネ ル シ ン ボ リ		イ チ フ ジ イ サ ミ		ケ イ シ ユ ウ タ ッ ク		※ シ ン プ ラ イ ド
	ス リ ー ョ ー ク		ク リ オ ン ワ ー ド		ダ イ フ ク ミ ツ		※ プ ロ ス バ ラ ス
57	※ ト ウ コ ウ エ ル ザ		ス ト ロ ン グ エ イ ト		② ハ ツ ノ バ リ	52	ウ エ ス タ ン バ レ ー ド
	ニ ホ ン ビ ロ セ ダ ン		タ ケ ク マ ヒ カ ル		④ ホ シ バ ー ジ	52	カ プ ラ ヤ オ ー
	バ ン プ ト ン オ ー ル	58	ス カ イ リ ー ダ		ロ ン グ ホ ー ク		④ シ ャ ト ー ド シ ン ボ リ
	フ ェ ア ー リ ユ ウ		② ス ガ ノ ホ マ レ	52	④ エ リ モ シ プ レ ー		ジ ユ ウ ダ ベ ン ハ ー
56	② ホ ウ シ ユ ウ ミ サ イ ル		ノ ボ ル ト ウ コ ウ		※ ② タ ニ ノ サ イ ア ス	51	アイ ア ン バ レ ー ド
55	エ リ モ マ ー チ ス	57	② オ ン ワ ー ド ガ イ		④ テ ン ザ ン オ ー	51	※ ア ン セ ル モ
	エ ク セ ル ラ ナ ー		コ ー ョ ー		※ ハ ギ ノ ク イ ー ン		イ ー デ ン ア ロ ー
	※ タ カ エ ノ カ オ リ		② シ ル バ ー ラ ン ド	51	ア ヤ フ ブ キ		オ レ ゴ ン シ チ ー
	ミ ホ ラ ン ザ ン		ト ー ョ ー ア サ ヒ		④ ア ラ ス フ オ ー ラ ン		ク ボ キ ン ス イ
54	ウ エ ス タ ン ダ ッ シ ュ		ヤ マ ブ キ オ ー		エ リ モ ジ ョ ー ジ		グ レ ー ト シ ャ ー プ
	ザ オ ー リ ユ ウ ジ ン	56	④ イ ナ ボ レ ス		④ セ ン ト ク レ ス ビ ン		ケ イ シ ユ ウ ビ ー チ
	※ サ ク ラ イ ワ イ		ナ オ キ		コ ウ イ チ タ ロ ウ		シ ン ギ ョ ク
	ナ ス ノ カ ゲ		ユ ウ シ オ		※ ニ ホ ン ビ ロ カ ホ ウ		セ ル ジ オ
	ナ ニ ワ ラ イ ト	55	イ ー ス ト リ バ ー		※ ハ イ シ ロ ー		※ タイ ム ト ウ シ ョ ウ
	ニ シ キ エ ー ス		※ キ ョ ウ エ イ グ リ ー ン		④ バ ウ ン テ イ ー		ダ ー テ イ ハ リ ー
	ヒ カ ル ジ ン デ ン		デ イ ク タ ボ ー イ		ヒ デ ム テ キ		ト ウ シ ョ ウ リ ド ン
	ラ ウ ン ド フ ザ ー		※ ナ ス ノ チ グ サ		マ イ シ ャ ド ー		ハ ク チ カ ツ
53	④ アイ ア ン ハ ー ト		ヒ ロ ク ニ		※ ユ ウ ナ ス	50	④ ハ ザ マ ヒ カ リ
	※ アイ テ イ シ ロ ー		④ ブ ル ス イ シ ョ ー		ア チ ー プ オ ー		④ ア ボ ロ ホ ッ カ イ
	※ イ ッ ト ー		メ ジ ロ ス イ セ イ		イ ズ モ タ カ ラ		※ オ ン ワ ー ド バ ル コ
	カ ネ ミ ク ニ		ロ ッ コ ー イ チ		ウ メ ゴ ロ モ		オ ン ワ ー ド プ リ ン ス
	※ エ ビ ス オ ー ル		※ カ ミ ノ チ ド リ		※ オ キ ワ カ		カ ー デ イ
	※ ④ キ ャ ッ ジ ュ ボ ア	54	キ ョ ノ サ カ エ		グ ラ ン ド カ ホ ー		カ ネ イ ワ キ
	※ ② ス ビ ー ド シ ン ザ ン		グ ッ ト キ ラ メ キ		④ タ ニ ノ ベ ト ロ ス		※ カ ミ ノ ス ズ ラ ン
	タ ニ ノ ダ ー バ リ ー		※ ケ イ ス バ ー コ		タ マ モ プ リ ン ス		キ ク ミ ハ ヤ テ
	※ タ マ キ ジ ョ ー		ゴ ー ル ド シ ン ゲ キ		タ マ モ ヒ カ リ		グ リ ン デ ル ワ ル ド
	④ ミ カ フ ア ス ト		ツ キ サ ム ホ マ レ		④ チ ェ リ ー タイ ョ ウ		ケ イ シ ユ ウ オ ー
	※ ラ ッ キ ー オ イ チ		ヌ ア ー ジ タ ー フ		④ チ ェ リ ー ベ ス ト		※ サ ン シ ョ ウ カ オ リ
	ラ ン ド グ レ ー ス		フ ジ ノ タ カ ワ シ		テ ス コ プ リ ン ス		タ ケ デ ン ジ ャ ガ ー
	※ レ ス タ ー ホ ー ス		ベ ル ワ イ ド		④ ト ウ フ ク サ カ エ		④ ノ ワ キ タ カ
	※ イ ナ リ ト ウ ザ イ		マ チ カ ネ ハ チ ロ ー		ト ウ フ ク ホ ー プ		※ ハ ー バ ー シ ン セ イ
	カ ツ シ ョ ウ グ ン		ム ツ ミ バ ロ ン		④ ト ッ プ ジ ロ ー		ヒ コ ノ ク ロ カ ゲ
	カ ネ オ オ エ		ヤ マ ニ ン ウ エ ー プ		ニ ツ ユ ウ バ ル ダ ス		フ ロ リ オ ー ギ
	カ ワ チ ボ ー イ	53	アイ テ イ エ タ ン		ニ ホ ン ビ ロ バ ワ ー		ミ ョ ウ ジ ン サ ク ラ
	キ ャ メ ロ ッ ト		ウ エ ス タ ン リ バ ー		④ ノ ー ス ラ イ フ		メ イ フ ア イ タ ー
	グ ア ム		イ ン タ ー プ ラ イ ド		バ ン プ ー オ ー ナ ー		※ ラ ウ ン ド イ エ ロ ー
	サ ニ ー ハ ー ド		※ ④ キ シ ユ ウ ロ ー レ ル		④ ビ ク ト リ フ		ヤ ノ ラ イ デ ン
	フ ジ オ ッ ク ス		サ ン ボ ウ		マ チ カ ネ タ ケ ル		※ リ ン ネ ス
	※ フ ジ ノ タ カ ザ ク ラ		シ ュ ン サ ク オ ー ザ		④ ラ ン ド ワ ン		(ワイダルゴ=シーザリン)
	ブル ー ム ー ン		ス モ ー ル キ ン グ		※ ロ ン グ モ ン ロ		
	ホ ウ ス ウ セ ダ ン		タイ ホ ウ シ ロ ー		(サウンドトラック=ヒンドウイナ)		
	※ ② メ ジ ロ フ ク シ マ		④ ハ ク サ ン ホ マ レ				
	モ ア ー キ ャ ッ ス ル		メ ジ ロ ゲ ッ コ ウ				
			ロ イ ヤ ル ス プ リ ン タ				
(計49頭)		(計52頭)		(計47頭)		(計45頭)	

1963年						1962年					
関 東						関 東					
三 歳		四 歳		古 馬		三 歳		四 歳		古 馬	
56	ウメノチカラ	63	メ イ ズ イ	63	ヤ マ ノ オ ー	58	グレートヨルカ	60	リュウムサシ	65	オンスロート
55	カネケヤキ	61	グレートヨルカ	62	コ レ ヒ サ	57	テ ラ イ チ	59	コ レ ヒ サ	63	タカマガハラ
54	アイウイン	57	カネノヒカル	60	エ ム ロ ー ン	55	ク ニ イ サ ミ		ヒ ロ キ ミ	62	トウコン
	フ ラ ミ ン ゴ	56	アイテイオー	58	スズトップラン	54	スタンダード	58	アサリュウ	60	エムローン
53	グレートサンキュウ	55	ソロナオンワード	56	カネツセーキ	53	カリムモア	57	フェアウイン	58	クリヒデ
	タニカオル	54	キクノヒカリ		ヒ ロ キ ミ		ヒヨシホマレ		ヤマノオー	57	ゴウユウ
52	キ オ ー		テツノオー		フェアウイン		ランオンワード		カネツセーキ	55	ハクオウ
	ジュセン		ハヤトオー	55	シモフサホマル	52	キクノヒカリ	56	スズホープ	53	オカメ
	ダイセイオー	53	クリライト		トウコン		カネノヒカル	55	ケンホウ		クリバン
	ツキホマレ		スズカンゲツ		ドキクイン		スズコトブキ	54	リュウゼツ	52	トキクイン
	フラワーウッド		ヒンドソネラ	54	アサリュウ	51	キングダンディー		キクノハタ	51	アサカブト
	ミツフク	52	カリムモア	53	ク リ バ ン		ミオソチス	53	ナスノニシキ		エベリット
51	サンダイアル		キングダンディー		ナスノニシキ	50	ガゼールターフ	52	ヒシフレーム		スズキオー
	ナスノカゼ		ミオソチス		ボールドゲリー		ヤシマジャパン	51	ヒシツヨシ		ビッグヨルカ
	ヒメホース		ミストヨベツ	52	ト ー ス ト		ユメドノ		アサユキ	50	エーデルワイス
	ミスイロハ	51	クニイサミ	51	テンリョウ		リヤトリス	50	オーハヤブサ		アルバニー
	ミネノユキ		ヒノモト		ハードウイン		ヒノモト		ル ー キ ー		クサナギ
50	イソキヨ	50	バ ン ダ ル		ル ー キ ー		スズカンゲツ		スズトップラン		セナリ
	ソチミリコ		ヒヨシホマル	50	キクノハタ		イ ロ ハ		フアラデイバ		ブルーダイヤモンド
	メジロドーター		ベルソーナ		オーショウ		フジノホマレ		ナスノミドリ		ボールドゲリー
関 西						関 西					
三 歳		四 歳		古 馬		三 歳		四 歳		古 馬	
55	ア ス カ	58	コウライオー	63	リュウフォーレル	55	コウタロー	59	リュウフォーレル	63	コダマ
	オンワードセカンド	56	パスポート	60	ヒカルボーラ	54	コウライオー	58	ゴールデンスター		シーザー
	シンザン	53	コウタロー	56	ゴウカイ		チトセリバー	57	ヒカルボーラ	61	ヘリオス
54	ブリマドンナ		チトセリバー	55	モトイチ		トサクイン	56	モトイチ	58	グレートスタン
	ヤマニルビー	52	ア ン デ ス		リュウライト		ヤマニルパール	55	オヤシオ	57	ホマレタイコウ
53	ソロナリュウ		ダイヤモンド		ハルヒカリ	53	カームスメント		タカシゲ	56	リュウライト
	ヤマニルシロ	51	ホーリュウ	54	バッキンガム		パスポート	54	バッキンガム	55	シズマサ
52	セントオール		イチミカド		マルニロール	52	アイスブルー		ハルヒカリ		タイゴンオー
	タケシ		カームスメント	53	スズカリユウ		ア ン デ ス	53	カツラエース		トキノキロク
	マ ス ワ カ		シャーラック	52	オーステーツ		コバンオー	52	ツバサリュウ		ミスケイコ
51	ウインヒカル		タイツバキ		カツラエース		シャチサカエ		ミ ス ズ	53	スズカリユウ
	エイブル・マン		トサクイン		シンカツフジ		シャーラック	51	イスタンブール		マルニロール
	オークラヤマ	50	ミスマサコ	50	ウエストライジング		タカミヤジ		オーステーツ		ランチャー
	パテック		ヤマニルパール		ホマレフジ		テイオー		チトセハーバー	52	チトセホープ
	バリモスニセイ		アイスブルー		マサクイン		トリユウ		マサクイン		ミスハツライ
50	ヒルフラワー		アイボリー		ミスキンカ		マサタカ		マニボックス		ヤマサカエ
	アサヒダケ		カツラツキコ		モーニングサン		マルクラ		ヤマニルフレーム		イーグル
	アサヒユートピア		ゴーケン		ヤマトタチバナ	51	ワカシラオキ		ヨシシオ	51	ミユキホマレ
	アムビション		チトセタイコ		ヨシシオ		アイボリー		ル ボ ッ ク	50	エイシユン
	オーヒメ		チェリーモア		ル ボ ッ ク		オンワードタイト		ライジングマサル		クラックリュウ
	スターキャスト		マサタカ								
	トップスター		マルクラ								
	ブランドライト		ミルフォード								
	マサオー		ヤマニルセンター								
	ミンドクイン										

1965年						1964年					
関 東						関 東					
三 歳		四 歳		古 馬		三 歳		四 歳		古 馬	
55	メジロボサツ	58	カブトシロー	61	ミハルカス	56	リュウゲキ	62	ウメノチカラ	66	ヤマトキョウダイ
54	セイブオー	57	コレヒデ	60	ウメノチカラ	55	フジマサ	59	フラワーウッド	64	メイズイ
	タマシュウホウ		キクノスズラン		ハクズイコウ	54	ナスノキク	58	ブルタカチホ	63	トースト
	ハーバーホープ		キヨカミ		ブルタカチホ		ビューティロック	57	カネケヤキ	58	シモフサホマレ
	ヒロイサミ	56	ブッシャン	59	ヤマトキョウダイ		メジロマンゲツ	56	ヤマドリ		ミハルカス
53	アサナミ	55	アオバ	57	ヤマドリ	53	アカツキオー	55	クリベイ	55	ハヤトオー
	タカトキ		カワサキオー	56	フラワーウッド		アドミラル		ハクズイコウ		フジノホマレ
	ハイアデス		クリデイ	55	クリベイ		ストローベリー	54	サンゲイアル	54	タカチオ
	マナメント		ヒガシソネラオー	54	スイートラベール		トップオーザ		ダイセイオー		ナスノミネ
	メジロマジョルカ		ベロナ		ダイセイオー		ヒガシソネラオー	53	アイエルオー		ハーバーヒカリ
52	カブトザン	54	セエチヨウ		パナソニック		ブッシャン		メジロオーザ		ヒンドソネラ
	スピードシンボリ		ソウリュウ		フジイサミ	52	キクノスズラン	52	ファイトモア		ミストヨベツト
	ナスノタイム		ベストルーラー	53	コキートルシガ		シナノホマレ		ドキノバレード	53	アサホコ
51	スイフトヒメ		リコウ		フジノホマレ		ハツユキ	51	オンワードストーム		クリライト
50	アサフミ	53	ナスノキク	52	ライデン		ハナガタミ	50	カミジホープ	52	スズコトブキ
	シゲハヤテ	52	リュウゲキ	51	ダイニシマユキ		ブレーブキッド		セイキヒカル	51	スイートラベール
	スガフレックス	51	パールボーイ		トサイサミ	51	ベスーピアス		フェアレデー		ダイニシマユキ
	スポーツターフ		ビューティロック		メジロオーザ	50	シェンターフ		ホマレキョウエイ	50	スズカンゲツ
	テルギク	50	メジロタイカン	50	テルクイン		ハヤトモス		ミスカリム		パナソニック
	フェアトラック		ヤマノイチ		ミストヨベツト		リコウ		ローゲンセ		マツフジ
関 西						関 西					
三 歳		四 歳		古 馬		三 歳		四 歳		古 馬	
55	アポオンワード	63	ダイコーター	67	シンザン	56	キーストン	63	シンザン	64	リュウフォーレル
	ニホンビローエース	62	キーストン			55	ダイコーター	59	オンワードセカンド	63	ヒカルボーラ
53	ソロモン	59	チトセオー	62	ヒカルボーラ	54	エイトクラウン				
	テイトオー	57	ハツライオー				ベロナ	57	アスカ	60	コウタロー
	ヤマニリュウ	56	キョウエイホマレ	61	バリモスニセイ		マサユキ		バリモスニセイ	59	コウライオー
	リュウファース		タニノライジング	59	バスポート	52	アストウエー	55	チトセターザン	57	バスポート
52	キョウエイヒカリ	55	ゴールデンパス				キョウエイホマレ				
	ブルーダイヤ		チトセドラゴン	57	コウタロー		シルバーヤング	54	ホマレライサン	56	ゴウカイ
51	ケープルオー	54	タイクラナ				タニノライジング		ソロナリュウ	54	カブトフジ
	タイシュウ		リュウドルガ	55	オーヒメ		チトセドラゴン	53	オーヒメ	53	イチミカド
	タニノヒカリ	53	アマゾンノソラ	54	アスカ		ハードリオン		セントパワー		ヤマニミドリ
50	ウインジェスト		シードラゴン			51	アマゾンノソラ		ブリマドンナ		マルニロール
	カリムスタア	52	ハチクラマ		オンワードセカンド		カツコマ		ヤマニルビー	52	ミルフォード
	サンバースト	51	アストウエー		ヤマヒロ		サクセンファイター				
	チトセヒジリ		エイトクラウン				トキノスルスミ	52	ハクヨシ	51	ソロナオー
	チトセブラッド	50	エブソム	53	ヒノデキング		ミスニホンビロー			50	エースミヤコマ
	トップラッシー		ダイアン			50	イソカズオー	51	ガルカチドリ		トオル
	ハードイット		タイクーン	51	ガルカチドリ		エブソム				
	モンターフォード		ニューパワー				キタシンザン	50	アサヒグケ		
	リュウミゴリ		パワーラッスル	50	ロードホープ		クミトップ		ダイイチヒカリ		トップイーグル

1967年 (この年から四歳、古馬は東西別を廃止) (※印は牝馬)				1966年 (※印は牝馬) (四歳以上は省略)			
三 歳				関 東			
関 東		関 西		三 歳		四 歳	
57	キタノダイオー	55	マ ー チ ス	56	モ ン タ サ ン	59	ナスノコトブキ
55	タケシバオー	54	タニノハローモア	55	リュウズキ	58	スピードシンボリ
54	アサカオー	53	ヤマニシユン	54	メジロフレイム	56	ショウグン
	ステートターフ		アシアアベベ	53	コキンホース	55	オンワードヒル
	※ヤマトダケ	52	※ファインローズ		※ブラックスワン		シエスキイ
53	※ヤマノオーカン		クリカシワ		ヤマニカップ		タマシュウホウ
	カドマス		※コウユウ		スズハヤテ		ヒロイサミ
	バシナーフジ		ダイヨンハマイサミ	52	ホウゲツオー		ヤマヒビキ
52	※アテナ		トッポオー		マツタカラ	54	メジロサンマン
	アマノガワ		ホシタカス		ムネヒサ	53	キョシゲル
	カブドニッポン	51	ミユキハイネス		※カツラジュニヤ		ダイニセエチョウ
	クリセカイ		アミダール		キャットエイト		ヒロヨシ
	コマカブト		オーロラン	51	スイフトオー		ボールドムサシ
	※ホースジョー	50	トホウクイ		※スイートフラッグ	52	メジロボサツ
51	ウメフクオー		※アヤヒビキ		ハクセンショウ		ネイチブランナー
	オンワードビーター		※アンダスター		※キクノフドウ	51	ハイアデス
	ジョンザンオー		イチバシカー	50	※ダイイチスズワカ		タカトキ
	スイフトライト		※ゼットスター		ミネシオ		ハーバーホープ
	※スズガーベラ		※パーラムシン		ユウユウ		ヒシヤクシン
	スズノツバサ		※ミスマルミ		※ヨウクン	50	カツラクラウン
	タジマオニザ		※ヤマニエ				
	※ナスノウタ		※ヨウテイザ				
	※マルシゲ						
四 歳		古 馬		関 西			
				三 歳		四 歳	
60	リュウズキ	64	スピードシンボリ	55	サトヒカル	59	テイトオー
59	アサデシコ	62	カブトシロー		タイギョウ	58	ヤマニリュウ
58	サトヒカル	61	キーストーン		※ヤマビツ		リュウファアロス
	ニッポニ		コレヒデ	53	※タニノクレイマント	57	ニホンビローエース
57	フシバニ	60	ヒシマサヒデ		④タフネス		ハードイット
	シムネヒ	59	オンワードヒル	52	イメジモア	56	アポオンワード
56	モヤンタサン		ゴールデンパス		※オーゼット		シバハヤ
	※ヤマニ	58	ヤマニリュウ		クラバク		ソロモン
55	アマトラ		リュウファアロス	51	ヒーローブラス	55	キョウエイヒカリ
	アイラジモア		アポオンワード		アトラス		タイシュウ
	イホウゲツ	57	タイヨウ		オーゴンリュウ	54	タイキョク
54	クワバ		リコウ		カミヤシューホー		ワカモ
	クワバ		ニホンビローエース		キングボッスル	53	キョズキ
	クワバ		ネイチブランナー		※グレイシヤスクイン	52	セカイイチ
	クワバ	56	ブッシュヤ		シバフジ		ハジメリュウ
	クワバ		エバソム	50	ライジングパンサー		ミスコウライ
53	ニウオニ		シエスキイ		イズモン	51	フットライト
	メジロフレイム		ハシマテツ		※イハフジ		ブルターニュ
52	※スイート	55	ヒシヤクシン		※キムスクイン		ヤマハクビ
	スズハヤ		※セフトウ		※シヤネル		リュウザン
	ニホンビロー	54	メジロサシマン		※スプリングヘア		ロッキーオー
	ハッピ		オンワードウエブ		※ハネムーン		
	フジエ		スピードキング				
	※ブラック		ナスノフブキ				
	※ミドリ		マルフブキ				
	※メジロ						
	メジロシゲ						

